

① 室小路地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>当公民館は借地である。約33年経過している。掲出されている氏名の方々は当時1世帯3万円支出いただき、当時の世帯数は130世帯、アパートの方々は5千円支出いただいた。約900万円の建設費で半分近くは役所からの補助を受けた。平成4年に開発が始まり、現在約1,100世帯、うち450～470世帯がアパートである。お陰様で学校も建設になりましたが、地権者よりもここは借地であります。10年位前から借地を返していただきたいということで、室小路自治会では特別会計として貯蓄を始め、4年程前から値上げをし、滝沢市内で一番高い会費年間6,000円となっている。それは、特別会計として貯蓄するためである。現在では1,300万円を超えます。市内自治会では一番貯蓄していると思います。つまり、あまり努力しなくても公民館が建っているところもあるように聞こえるが、滝沢の財政的にいかなものか、自己努力が必要ではないか。公正公平な運営、住民が望んでいるということを申し上げたい。建設が始まれば認可地縁団体に登録して財産を法人で登記する。現在は任意団体の室小路自治会長の登録になっている。さて、一昨年の懇談会において、前市長へ解体費400万円ほどかかると話をしたところ、解体費は市がもたなくちゃいけないでしょうという発言があったが、トップの市長の発言は現在も生きているものなのか、あるいは全く関係ないものなのか、建設費用とは別の問題とこちらでは認識しております。</p> <p>公民館について、私は二年以内に建設しますよと話していますが、室小路よりも先に申請している菓子の件でうまくいってないということから、あおりを受けるのではないかと心配しております。この公民館の下が腐り始めている。修繕にお金を使いたくない。よその自治会等は新品の備品購入をしているが、当自治会は全てリサイクルショップで購入している。ぜひ、公民館の目途をお話いただきたい。</p>	<p>今ここで、できます、やります、有効です、というのは難しい。解体費用について、前市長が約束したということですが持ち帰って検討させていただきたい。</p> <p>地域として一丸となって1,300万円を貯蓄している地区はない。宝くじの補助金を活用している。優先度は高いと思っている。</p>	地域づくり推進課	<p>室小路自治会が特別会計を設けて、建設資金を計画的に積み立てていることは承知しており、市としても公民館建設に協力したいと考えております。</p> <p>しかしながら、公民館建設希望地については、公園用地所有者の岩手県との調整が必要であるほか、宝くじのコミュニティセンター助成の活用等についても採択に向け調整が必要となります。これらの課題を1つずつ解消し、建設を推進してまいりたいと考えております。</p>	
2	<p>ゴミ減量は住民一人一人の責任でもある。役所としても責任が重い。55,000人の滝沢市では約10億円程の焼却費用がかかっている。一方北上市は、7万人を超える人口で7億円の焼却費用である。北上はゴミの有料化をしている。そこで、ストックヤードは有効ではないか。中央小のゴミ集積場の脇にストックヤードを設置した。市が所有する用地で無償で貸していただけないか。</p>	<p>ゴミは減量しなければならない。ゴミ集積所に出したものはゴミとしてカウントされる。ストックヤード用地についてぜひ検討させていただきたい。</p>	環境課 地域づくり推進課	<p>ストックヤードの活用はごみ減量化・資源化において有効な手段の一つであり、市民の皆さんには、引き続き、ごみの分別や集団資源回収などにご協力いただきたいと考えております。お話にありますが内容につきましては、自治会からのご要望を丁寧に向い、他事例も参考にしながら、管理基準及び法令の関係もありますので候補地毎に協議してまいりたいと考えております。</p>	
3	<p>中央小の校長を始め、父兄から要望があり、なでしこ保育園のところをメイン通りから抜ける車が7～8時320台位通過します。メイン通りは森のところまで渋滞する。すると迂回車両が増える。非常に危険である。</p> <p>交通安全については、教育長もいらっしゃいますし、中央小の校長先生と検討いただきたい。</p>	<p>通過車両の件、子ども達の安全のため、現地を確認し優先的に考えさせていただきたい。</p>	防災防犯課 学校教育指導課	<p>中央小学校周辺は、ゾーン30の区間規制を行ったことにより、30キロの速度規制を行っています。登校時間帯におけるパトロール要望として警察署に情報提供します。</p> <p>子どもたちの安全が一番であり、地域、スクールガードの方々には感謝いたしております。迂回車両については、今後、滝沢中央小学校教育振興協議会などの話題にしていきたいと思います。</p>	

4	<p>ビッグライフ滝沢は、様々なイベントが開催されて多くの方々がいらしていいが、普段はガラーンとしている。駐車場も広いし、テーブル、イスもあるが、テントまではいかななくても全面的に長く屋根があるとか、外で遊べるスペースとして工夫があれば小さい子を連れて寄ってけるのではないかな。</p> <p>中のお店も、お土産的な物が売られているが、普段使いなものをもっと置いて欲しい。工夫があれば嬉しいなあと思います。</p> <p>他と比べるわけではないが、紫波のオガールとか楽しい。子供達がボールを持って遊んで遊べるような芝生があったり、その脇とかにちょっと屋根があるスペースがあったり、いいなあと思う。</p> <p>建物に映写するなど学生の案もあるので、ぜひ前向きに検討をお願いします。</p>	市民が集まれる場所になるよう指定管理者にも話をします。	地域づくり推進課	<p>ビッグライフ滝沢の利用者は平日が全体の約40%～50%となっております。大きな要因としては、土日祝日は集客を目的とした多くのイベントが行われていますが、平日の利用については会議や研修、講座の受講など、集客を主な目的としない事業が多くなっております。したがって多くの利用者は会議室用の室内におりますので、閑散と見えてしまいます。</p> <p>市としましても、平日の利用者を増やしていくことが、施設の賑わいにつながると考えており、指定管理者と協議し様々な取り組みを徐々に行っており、その効果もあって、少しずつではありますが中学生、高校生の利用者が増えております。今後ともどのような物や事が賑わいにつながるのか協議し改善を行っていききたいと思います。</p> <p>また、滝沢キッチンについてですが、施設の目的の一つとして、滝沢市の特産品をPRできる場所として整備したものでありますが、利用者の増加に伴い、日用品の取り扱いについても要望が増えて参りましたので、周辺の店舗等、民業の圧迫にならない範囲で取り扱いを増やしていきたいと考えております。</p>	
5	滝沢市は健康づくり宣言をしましたよね。これからの健康づくりに対して何をしたらいいのかな。	健康づくり、何をすれば良いか。いっぱい並べたい。標語のように。塩分控える、禁煙、野菜を食べる、長野県でも推奨している。とにかく歩きましょう。肺や心臓の機能を高める。健康づくりとして進めていただきたいことを端的に表していきたい。現在は材料集めの段階であり、その後、医師会や大学の先生の意見を聞いてどういうものをやるか定め、市民に標語のようなものを示せるよう考えているところです。	健康づくり政策課	健康づくりの要素としては運動・栄養・休養の三点が示されており、この3点から広がる様々な取り組みが考えられるところですが、すべての方は、それぞれに必要な取り組みがあると思われることから、健康づくりの基礎となる情報を提供しながら、併せて取り組みの提案を行っていくことを検討してまいります。	
6	総合公園体育館、多目的研修センター、東部体育館など使用料をとって貸出しているが、市民が体育施設を使用する場合無料にするとかできないか。卓球をしているが、盛岡市の施設は団体の代表が盛岡市民であれば無料で私たちも使用させていただいている。体育施設の無料化をすれば健康づくりも進むのではないかな。	体育館使用料を無料にすべきではないかについてですが、現在検討中だが無料にするということではなくてどういう団体なのか、このような催し物は無料なのか、全部ということではなくて、その中でも市民の皆様がこれは無料で良いと思えるようなものを考えていきたい。	生涯スポーツ推進課	滝沢市有の公共施設に係る使用料、減免の見直し等の全体的検討の中で体育館につきましても今後検討することとなります。なお、盛岡市の状況について盛岡市体育協会に確認したところ、体育施設の利用は有料であり、ただし身体障害者手帳等をお持ちの方については減免措置があるとのこと。また、地域の活動センターについては、原則無料で利用できますが、営利目的の利用の場合等は有料になるとのことです。	
7	盛岡市、矢巾町、雫石町は放射能測定器があつて、土壌とか食品とか市町民が測定できる。滝沢市は無いので測定できない。例えば雨樋の溜まってる土にどれくらいの放射能が高いとか、散歩しろといっても、小さい子供たちが放射能の高いところを歩くことになる。今は髪の毛から農薬が検出できる。昔は母乳からダイオキシンが出たって大変なこともあった。野菜をいっぱい食べるとかいいことだが、福島原発があのようなことになっているので気軽に測定器を借りて測定できる環境をお願いしたい。	放射能測定器ということですが、県が滝沢においてもポイントを作って測定し公表している。それを見ると決して高いわけではない。定点観測以外に必要なのか専門家の話を聞き、設置している市町にも話を聞き、考えてみたいと思います。	環境課	放射線量については、県で「放射線量等の測定に関する取組状況」を公表しています。滝沢市にはモニタリングポストが設置され、24時間体制で放射線量の測定が行われており、放射線量は基準値を下回っています。	このほか、各箇所に持ち運びが可能で、簡易に測定できる機器の導入については、今後検討してまいります。
8	メイン道路、朝の通勤時間だが、中央小学校が出来てから、自転車の中高生が歩道を走れなくなって車道に飛び出してきて結構怖いと思っている。盛岡市内とかサイクルロードとか自転車専用ラインを付けている。設置とか表示とか出来ないものかな。	物理的にしかできないことか、交通安全指導で対応するか、現地を見て現場の方々と相談しながら検討したいと思っている。	防災防犯課 道路課	道路構造上の問題もあるかと思いますが、中学生については、交通安全教室を通じ、自転車走行マナーアップ指導を行います。	サイクルロードは道路の拡幅が必要であり、現況では路側帯があるので外側線の引き直しを検討しています。引き直して効果が薄い場合には路側帯部分にカラーを塗る等の対応を検討します。

9	今日来れなかった方から頼まれたが、総合公園体育館内の公衆電話がカードが使えない。壊れている。直していただきたいと数年前から言い続けているそうだが未だ対応されていない。部活帰りの中学生等まだテレホンカード使用している。	テレホンカードの件は早速戻って確認します。答えは自治会長に連絡します。	生涯スポーツ推進課	指定管理者滝沢市体育協会に確認しましたところ、携帯電話が普及しテレホンカードの利用が減少したこと等により、電話機更新時にシンプルで故障の少ない硬貨専用型に数年前から切り替わったとのことあります。テレホンカードを入れる形態ではない電話機であり故障ではないとのことでありました。	
10	総合公園のテニスコートにナイター施設を設置できないのでしょうか。	テニスコートのナイターの件は、内部で話してみますが、他の施設との兼ね合いもあるので、担当課等と話し合いをします。	生涯スポーツ推進課	現時点に於いて「ナイター施設」に係る計画等はありません。今後、充当可能な国庫補助金等の情報に注視してまいります。	
11	まちづくりの話について、徒歩で生活できるようなまちづくりを目指しますということで、リハビリの仕事をしていますが、健康寿命、予防という考え方は非常に大事だと思っているので、滝沢は車社会であり、中心市街地の計画は非常に壮大な計画だと思うので、地域の中で徒歩で通えるところがあるかないかというスケールで進めて欲しい。	11の地域それぞれが徒歩で生活が完結できる環境を目指したい。市となった以上は市の中心部があって、至るところから人が集まるということも目指したい。	都市政策課	滝沢市都市計画マスタープランにおいては、元村・室小路地域は「日常生活の利便性確保のため、スーパー等の商業・サービス業を集積します。」等の土地利用の基本方針を掲げ、地域別構想を設定しており、各地域の方針と実情に合った都市計画を進めてまいります。	

② 姥屋敷自治会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	<p>スマートインターの開通となり、観光の面でも蒼前神社へ誘導する道路を整備して欲しい。また、私達が協力しているマイロードにも結び付けて欲しい。春子谷地湿原でも鞍掛山でも観光資源は道路が重要である。</p> <p>長年の願いであるマイロード整備に関し、整備しても道路が崩れてしまう。道路脇の水流もどうにかならないものか。</p> <p>喫緊の課題であり悲願であるマイロードの舗装について、高校生の自転車がか月で5回もパンクしていたということもある。この開拓道路では過去に死亡事故があったように非常に危険な道路でもある。簡易でもいいので舗装をお願いしたい。本日参加している地域の皆さんの総意である。</p> <p>我々が協力しているのも舗装をお願いしたいからである。100メートルでも200メートルでも構わないので、簡易舗装でもいいので、今年中にとりかかってくれば、市に対する信頼がグンと上がると思う。</p> <p>あの道路を下ることによって心筋梗塞患者の乗せた救急車が助かった経緯もある。</p>	<p>道路計画と財源など内部で検討したい。</p> <p>マイロードに関して、道路脇の水流（河川）について現場の状況を確認します。</p> <p>自転車でよく通った道であり、たしかに急カーブもある。両道路を確認しながら計画的に進めたい。</p> <p>マイロードに関して、3年目ということで協力をいただき感謝申し上げます。平成17～18年に上の方を広げたという経緯がある。もともと林道として補助事業で整備している。道路構造令の関係から当時の工事費として25億円位かかるということで着手できず現在に至っている。大型トラックが通る道であり、簡易舗装では1年ももたないなどいろいろな課題もある。引き続き市としても検討していきます。開拓道路については市の道路整備計画に載っている。地元の皆さんと話し合いながら進めてまいります。</p>	道路課	「洞畑鬼越線」の整備については、滝沢市道路整備計画の中にありますが、事業化には至っておりません。	
2	<p>スクールガード等をしているが、持参した別添の交通安全資料の道路を全校生徒23名中7名が毎朝歩いて登校している。この道路は50キロメートル規制となっている。県内小学校通学路で50キロメートル規制はない。西警察署に行き話をしているが、今後、自治会や協議会、市等と併せて申請したいと思っている。</p> <p>小中学校前の横断歩道の前後に菱形の注意喚起のマークを設置いただきたい。</p> <p>五差路から東に向かう道路は、カーブが非常に多い。大型がすれ違ふとき児童の登校時間は非常に危ない状況になる。歩道及びカーブミラーをお願いしたい。やはり歩道の無い通学路でスピードを出す車が多いので通学している子供達が危ない。</p> <p>学校前の道路は40キロメートル規制ではあるが、非常にスピードを出す車が多い。移動型オービスを設置して欲しいと要望している。</p> <p>通学路の安全点検を警察等と実施している。警察にも要望している。子供を巻き込んだ事故が全国的にも多く発生している。市内にも移動オービスが設置され臨時的に取り締まりを行っている。</p> <p>別添写真No.9について、内側の地権者は砂利を敷いて通学路のために埋めて良いと言っているが一向に変わらない。対応をお願いしたい。</p>	<p>子供達の安全ということでスピードの出し過ぎをしないよう徹底する必要がある。警察へのお願いも市としても行う。</p> <p>規制に関することは県公安委員会にお願いし、道路管理者として出来ることは市が行うことになる。歩道を設置できれば良いが、一部側溝に蓋をしてスペースを確保するなどしている。カーブミラーについても防災防犯課と連携しながら、全部とはいかなくても一番危険な箇所に設置するなど対応していきたい。この道路は当時開拓地整備事業で現況の道なりに直した道路である。局部的に改良するなど時間を頂戴し計画的に行えるよう検討していきたい。</p>	防災防犯課 道路課	<p>①最高速度規制に関して、「交通規制基準」を見ますと非市街地における2車線道路で歩行者交通量が多い場合は50キロ規制、少ない場合は60キロ規制と記載があるほか、「歩行者交通量、歩道設置の有無、道路線形」などが基準速度を下方補正する補正要因のケースとして例示しております。速度規制は公安委員会の判断となりますが、本市としても市民要望として把握させていただきます。</p> <p>②横断歩道前後の菱形マークは公安委員会判断の設置となります。警察署確認結果、要望として把握済とのことです。</p> <p>道路課で対応できる部分は路面標示及びカーブミラーの設置、歩行者空間の確保の部分です。姥屋敷小中学校前の道路については、「学童注意」の路面標示を設置することを予定しています。カーブミラーについては、現地と一緒に確認させていただき、設置について検討したいと思います。歩行者空間の確保については前年度から側溝に蓋をかけているものを今後も継続していく予定です。短区間ごとの施工となる為、長期的な対応となります。砂利を敷いて歩行者空間を確保することについては、土側溝があるためその利用状況について把握しなければなりません。土側溝を砂利で埋めて歩行者空間を作っても、道路上を排水が流れてしまっはいけないので、慎重な判断が必要となります。</p>	
3	<p>観光をもっと進めて欲しい。春子谷地は昔道路から見えた。今、春子谷地どこですかと聞かれても教えようがない。遊歩道等設置することで観光客が来るのではないか。</p>	<p>遊歩道や案内看板については、見ていただくという目的として、順路表示など検討していきたい。</p>	観光物産課	<p>春子谷地は滝沢市指定天然記念物に指定されています。貴重な動植物が生息している環境を保護するため、遊歩道の設置は考えておりません。</p>	
4	<p>10月から保育料の無償化になると聞いているが、当保育園はいかがか。</p>	<p>先月、県の説明会があり、姥屋敷へき地保育所に関しては、認可外保育所であり、3～5才児で3万7千円以下の保育料の方の場合、無料となる。0～2才児については、住民税非課税の方で4万2千円まで無料、住民税課税の方は現在と同じとなる。</p>	児童福祉課	<p>市回答のとおりであり、保護者が必要な手続きも完了しております。</p>	

5	<p>お山の湯は、自然環境も非常に良く、良い施設であり、あのまま腐らせるのはもったいない。小さい時から相の沢で育ってきている。松の木があるが非常に良い木であるが、見てもらったら死んでいるという。誰でも気軽に遊べる環境を整えるなど活用できないか。</p>	<p>民間の若い人達に、あそこをどう活用できるか、検討してもらっている。 商工会の青年部の皆さんなどに、お山の湯を今後どの利活用していくか、水や施設の利用方法など計画を提案いただくこととなっている。市としては、市の財産を貸すのかなど検討している。</p>	<p>観光物産課 財務課</p>	<p>財務課が事務局となり、プロジェクトチームを組成して活用方法について検討中です。 市といたしましては、費用をかけずに、また、広く施設利用の可能性について模索しており、民間活力による施設の利活用について期待しているところです。 現在、利活用に前向きな民間事業者において、自然などを活かした事業展開について検討が行われているところであり、市といたしましても連携しながら、当施設の利活用、地域の活性化に繋がるよう進めていきたいと考えています。</p>	
6	<p>保育所にお世話になっているが、保育時間が短く、他の保育園に行く家庭もある。また、毎日お弁当を持たせている。 遊具が基準外の遊具になっていると聞いた。他の園で更新した際のお下がりも聞いた。現在もブランコが壊れている。園からは気を付けて使うよう言われている。 保育園の環境充実をしないと若い世帯が姥屋敷に定住しないのではないか。 消防屯所との境のフェンスが壊れている。(市はお金が無いと回答があった。)</p>	<p>認可外保育所ということでこのようになっている。市としても、他の保育園の分園にすれば、設備・時間等も認可保育園と同様にできるので、認可の保育園の分園にできないか検討している。 以前、保育所の廃止の話もあったが、地域の皆さんからの要望により現状のまま残している。壊れている等については現場を確認し対応したい。</p>	<p>児童福祉課</p>	<p>市回答のとおりではありますが、フェンスの修理等、移設を伴うことなどから、時間をいただきながら順次対応してまいりたいと考えております。</p>	

③ 柳沢自治会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	コミセン施設内の禁煙について、喫煙場所を設置すると市から連絡があったが、未だ設置されていない。実は、地元の会議を開催するにあたり、喫煙する人が会議に来なくなった。	市役所などの行政機関の敷地内を全面禁煙としているが、コミュニティセンター等はそこまで厳しく行っていない。喫煙場所の設定は時間がかかるかもしれない。会議の中で話し合いをして欲しい。	地域づくり推進課	健康増進法の一部改正に伴い、望まない受動喫煙の防止のため、市では公共施設について建物・敷地内全面禁煙もしくは建物内禁煙で敷地内に喫煙場所を指定することで対応しております。地区コミュニティセンターでは後者の対応をとっており、市で喫煙場所を決めてはありますが、区画を区切ったり、灰皿を市で設置する、というものではございません。ですので、他の地区コミュニティセンターでは、もともと地域でお使いだった灰皿を喫煙場所に移動して使用していただくなど、地域のほうで、工夫しながら分煙にご協力頂いております。説明が不足しておりましたことを、お詫び申し上げます。	
2	後期高齢者が施設に入所したくても入れない人がいる。お金がある人は有料の施設に入れるが、一人暮らしで年金生活している人は施設に入りたくても順番待ちとなっている。年金生活でも入れるような施設を考えて欲しい。	どれくらい待機者がいるか把握していないが、必要な人が入所できるよう判定している。検討する。	高齢者支援課	施設の入所は、それぞれの心身の状況を各施設が判断して入所を決定しており、収入によって決定されてはおりません。 また、必要な方が施設に入所できるよう介護保険事業計画で検討を継続してまいります。 なお、収入の少ない方が入所できる施設は介護保険施設にはなく、また市として施設を整備することも財政的に極めて困難であると考えております。	
3	柳沢小中学校から自衛隊に向かう道路で倒木があり、倒木の処理をどうしたら良いか市役所に電話したところ道路課ではなく農林課ですと言われ、農林課の職員に繋がれたら朽ちるまでそのままですと言われた。青年の家に合宿に来る方々がランニングにも使用する道路である。	木の所有者が誰であれ、道路に倒れている以上早く対処しなければならぬ。担当部課に伝える。 市有林であり農林課が対処しなければならない。農林課の対応をお詫びする。	道路課 農林課	道路上に倒木が発生した際は、安全確保のために早期の現場確認を実施します。車の通行等に支障が出ていれば急急に支障が出ている部分の撤去作業を行い、木の処分等は土地の所有者にお願いすることになります。 市有林における倒木の場合、適切に処理します。	
4	湯質が良く、足腰に効くというお山の湯は、どういう経緯で廃止し、今後どういう形で活用していくか。常連さんのグループができるほどであった。復活の発案はないものか。	湯をくみ上げるポンプの故障、配管等の維持管理経費などにより廃止となった。今後の活用について公募も行ったが、現在は市商工会の若手グループで利活用を検討し、様々提案いただいているところである。	観光物産課 財務課	財務課が事務局となり、プロジェクトチームを組成して活用方法について検討中です。 旧お山の湯につきましては、平成8年11月に開館し、市民の皆様にご覧いただきましたが、年数の経過とともに度々重なるポンプ等の故障が発生し、施設の存続について、議会も含めて議論が行われ、将来的にも多額の経費が見込まれることから、平成28年12月31日をもって、止む無く施設を閉館したところです。 市といたしましては、費用をかけずに、また、広く施設利用の可能性について模索しており、民間活力による施設の利活用について期待しているところです。 現在、利活用に前向きな民間事業者において、自然などを活かした事業展開について検討が行われているところであり、市といたしましても連携しながら、当施設の利活用、地域の活性化に繋がるよう進めていきたいと考えています。	

5	農産物も生き物も朝から夜中まで手をかけなければならない。後継ぎやお嫁さんのことなど問題もある。街が大きくなっているところは、県道国道の道路端に工場や資材置場ができ、便利なところでできている。農林課にも以前聞いた関係で、国道県道は何メートルまで街を作っているのか。また、農振地域についても、農作物生産だけではなく、まちづくり形成して欲しい。駅が出来てスマートインターが出来て、その周辺にまちづくりを進めて欲しい。	日本の食を守るため、農家を守らなければならない。農地は誰のものか。農地を売る、農地を買う、そのような仕組みが出来ている。農地を宅地等にするにも、県、国の許可が必要になる。こういった様々な問題がある。	農業委員会事務局 農林課 都市政策課	農業委員会では、農地を農地以外のものに転用する場合、農地法の許可基準及び他法令法との整合性に基づき、農地転用許可権者である市長または国に意見書を提出します。 農業振興地域は農業を振興する地域のため、その計画の中ではまちづくりの形成は困難ですが、農業振興とまちづくりのバランスを図りながら進めていきます。 都市計画では、無秩序にまちが広がらないように、一定のルールに基づいて建物の建築を制限しておりますが、国道県道に関して何mまで街を作ってもよいというきまりは、都市計画法上はありません。 また、滝沢市都市計画マスタープランにおいては、滝沢中央スマートインターチェンジを産業拠点と位置付け、「新たな企業の立地促進により、雇用や活力を生む拠点の形成に努めます」としております。	
6	バスなどの公共交通の無い地域であり、福祉バス・患者バスが週三回通っている。これは、止めないようにお願いしたい。	公共交通機関は時間がかかる。福祉バス・患者バスについても引き続き継続していく。予約制・複数で利用するタクシーという方策も考える必要がある。	高齢者支援課 健康推進課	市全体での公共交通のあり方を検討しているため、その結果をふまえて福祉バスの見直しは必要であると考えています。 市全体での公共交通のあり方を検討しているため、患者輸送車の事業を継続しながら、手法を見直していく必要があると考えています。	
7	春子谷地について、観光客が写真を撮るために路上駐車しているが、観光ルートの1つとして、駐車スペースを作ってはいかかがか。昔観光協会でも議論した経緯がある。春子谷地周辺には私有地もある。昔、村が買い取るという話もでたこともある。	他地域でも春子谷地について提案があった。遊歩道や看板設置などの提案である。観光の素材をどう活かすかを今後も検討していきたい。 春子谷地に人を入れていいかという問題もあり、学者によっては人を入れれば春子谷地は無くなるとも言われている。私有地の件、補助制度が無いこともある。知る人とぞ知るという春子谷地という考えもある。中に人を入れて、消滅してしまうという恐れがある。今後も検討する。	観光物産課	—	
8	コミセンに隣接して立派な施設を建てていただき本当にありがとうございました。今後も地域で活用させていただきます。	—	—	—	
9	市役所では女性センターが児童福祉課にあると言ったが、児童福祉課に行ったら無いと言われた。女性センターの設置目的、職員はどの程度介入できるのか、職員の法的な資格、市長の監督権限を知りたい。昼過ぎに市長へ文書を持って行った。妻が女性センターに相談し、弁護士介入、離婚調停となった。最初に相談したのが女性センターである。妻は盛岡市は知らないと思うが、女性センター、法テラス、弁護士、最後DVの相談を警察にしたという経緯である。 家庭のことを調べたいのに、開示請求を拒否される。子供の状況を知りたい。住所変更など支援措置、住基ブロックかけられている。市長権限でやっていると思う。そういったものを市長はチェックしているのか。 教育委員会で子供の転校について、正規の手続きではなかったということで、特別な手続きとはどういうことか。	女性センターは盛岡市である。女性センターであれば盛岡市で設置している。 回答しかねる。 市でも、女性センターというものは無いが、子育てや生活に関する相談を児童福祉課でも受けている。 様々な事務があり、市長が全て処理しているわけではない。課長専決、部長専決等ある。知り得た秘密、当事者から出すなど言われた場合、出すことが問題になる。法律に従い、きっちりやっている。 この件については、家族の問題、個人のことになるので、ここではお話は控えさせていただきます。	【←個別案件】 【回答不要】	—	
10	県道を通る観光客に対する公衆トイレを設置して欲しい。自宅敷地内に入って用を足すケースもある。	コミセンの隣の新しい施設のトイレを外にも扉をつけ、公共利用できるような話もある。利用者からは協力金を頂戴するなど、今後検討する方法もある。	地域づくり推進課	地区コミュニティセンター隣の還元施設につきましては、自治会が所有・管理しております。現在あるトイレの開放につきましては、自治会内での協議が必要になると思われます。（自治会担当課としての回答）	

④ 元村地域づくり懇談会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	市役所も交流館も喫煙場所が無くなり、市長から健康長寿の向上を図るという内容の説明があった。たばこ税を滝沢市は受け取らないという決断は無いのか。 市長はたばこ税を受け取らないことはないとのことでしたが、吸ってる方に滝沢は税金もらってませんよと言えるし、吸う場所が無くても何も言えなくなる。	たばこ税を受け取らないということは無い。喫煙により国保の方で支出が増える。それ以前に、健康で長生きしていただきたい。	財政課	平成30年度のたばこ税の税収は約3億1千万円と非常に大きな金額であります。たばこ税につきましては、市民の皆さんに行政サービスを提供するための貴重な財源として、今後も活用していきたいと考えています。	
2	10年後とも言われているが、ゴミ焼却施設が盛岡市に設置されるということだが、盛岡市と滝沢市のゴミの分別レベルが異なる中で、盛岡市のゴミの分別に合わせたら何年かかるか。 本年度からペットボトルのゴミの出し方が変わったがご存じか。去年かもしれないが、キャップとラベルを取るようになった。今までは極力取るようにで、現在は取ってくださいとなっている。皆さんわからないので段階的にという考え方は止めて、早急に始める必要がある。	盛岡広域で段階的に進めており、今は場所を決める段階であり、場所を決定した後に、処理方式を決めるという状況になる。盛岡市と滝沢市の大きな違いはプラスチックであり、盛岡市は分別しており、滝沢市は焼却している。これは、盛岡広域だけの問題ではなく、日本だけの問題ではなく、世界の問題である。プラスチックから石油を精製するか、焼却によりエネルギーを作るか、いずれにしても盛岡広域のゴミ処理施設の場所が決定しなければ次のステージに進めない。 世の中のゴミというのは消費者に集まるようになっている。例えば、ビールを飲みたいということでビールを買うわけですが、ビールには缶や瓶がついてくる。それを処理するのは市民であります。パソコンを買うにも同じである。私は、キャップやラベルを外し、スーパーに持って行くことにしている。市と市内にある企業とが協定を結んでいる。ゴミ集積所に搬入するゴミを少なくする。廃品回収もゴミを少なくする。そのようなことをリーフレットにし春に配布している。さらに励行していきたいと思っている。	環境課	県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想に基づき、盛岡広域8市町のごみ焼却施設を1か所に集約し、令和11年度からごみ処理の広域化に取り組んでいくこととしています。 現在は、4か所のごみ焼却施設整備予定地のうち盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地とし、地域の協議を優先して継続しているところです。 本市としてもごみ処理の広域化を見据え、市民、事業者、市民団体及び市の連携及び協働によるごみ減量化・資源化に取り組むこととしており、スーパー等の店頭回収、集団資源回収、使用済み小型家電回収等を励行してまいります。 あわせて、取組内容について、広報等を通じて情報提供してまいります。	
3	2029年から広域8市町でのゴミ処理の広域化が始まる予定ですが、場所の選定は盛岡市に任せっきりということはないと思うが、焼却炉の方式の選定に関しては滝沢市も積極的に熔融炉方式を推し進めて欲しいと思うし、最終処分場に持って行く量にも影響がある。導入時はコストがかかるかもしれないが、その後のコストを考えれば熔融炉方式の方が良いのではないのでしょうか。積極的に発言する考えは無いのでしょうか。	プラスチックの問題は先ほど話しましたし、主張すべきことがありましたら、滝沢市としてこういう方法もいいのではないかと主張していきたい。盛岡市の最有力の候補地の住民の皆さんが、現物を知るために視察をされた。秋田市内にある焼却施設で、熔融炉方式である。この視察により、こういう方式であれば良いのではという方もいらっしやうと聞いています。	環境課	県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想に基づき、盛岡広域8市町のごみ焼却施設を1か所に集約し、令和11年度からごみ処理の広域化に取り組んでいくこととしています。 現在は、4か所のごみ焼却施設整備予定地のうち盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地とし、地域の協議を優先して継続しているところです。 本市としても引き続き盛岡広域8市町と連携し、ごみ処理の広域化の検討及び協議を重ねながら、ごみ処理の広域化に取り組んでまいります。	
4	自治会でストックヤードを設置し、再資源化を進めているが、場所の問題と経費の問題でなかなかストックヤードの数を増やしていくことができない。子供達が使わなくなった小さな公園があるが、そういった場所への設置の際の規制の緩和、設置に関する補助金を出していただけるシステムなどご検討いただきたい。	ストックヤードはゴミの減量化に非常に有効であり、土地の問題、補助金など検討させていただきたい。	環境課 地域づくり推進課 滝沢・雫石環境組合	ストックヤードの活用はごみ減量化・資源化において有効な手段の一つであり、市民の皆さんには、引き続き、ごみの分別や集団資源回収などにご協力いただきたいと考えております。お話にありますが内容につきましては、自治会からのご要望を丁寧に向かい、他事例も参考にしながら、管理基準及び法令の関係もありますので候補地毎に協議してまいりたいと考えております。 なお、使わなくなった小さな公園については、法定外公共物である緑地や遊具等の公園施設がない公園のことと思いますが、併せて、自治会と協議してまいります。	
5	ストックヤードの普及はいいが、建築基準法の関係で建築確認が厳しいのではないのか。資源の有効利用という観点から規制緩和ができないか。	新たにストックヤードを設置する他、今ある集積所を使用するという方法もある。ゴミの集積の無い日曜日に瓶や缶を集めるという工夫をしている小岩井自治会もある。様々な方法を検討しながら進めていきたい。	環境課 地域づくり推進課 滝沢・雫石環境組合	ストックヤードの活用はごみ減量化・資源化において有効な手段の一つであり、市民の皆さんには、引き続き、ごみの分別や集団資源回収などにご協力いただきたいと考えております。お話にありますが建築基準法との関係につきましては法令との関係となりますのでご意見として、担当部署である盛岡広域振興局建築指導担当にお伝えいたします。 また、建築確認が不要な場合や該当しない物置も有りますので、自治会からのご要望にある候補地毎に協議してまいりたいと考えております。	



6	現在、あすみ野は住みにくい暴走の街になっている。閑静なあすみ野に朝から晩までダンプ20～30台が毎日砂利を積みながら走っている。公道であり道路課も警察も取り締まれない。砂利こぼれ、洗濯物ほこりだらけ、道路が汚れている。道路課に言っても予算が無いから出来ないと言う。放水車で綺麗にする自治体もある中、滝沢市には放水車はない。三陸土建に話をしても業であるという。公害の街あすみ野を見て欲しい。通学路でもある。何か起きてからでは遅すぎる。行政として検討いただきたい。	現地を見て、対応を検討していきたい。道路を汚すということであれば原因者が行うべき、市道の管理ということであれば市が行う必要もある。いずれ検討させていただく。 業者をお願いをし、対応いただくなど、事業者にお話させていただく。	道路課	道路路肩部に土砂、枯葉等が堆積し、車道にも汚れが見られたため、市の維持修繕業者が散水車、2tダンプを使用し清掃作業を行いました。団地上にある土砂搬入地へは複数の業者が出入りしており、不特定多数の者への指導は難しいことから、今回市で施工を行ったものです。 今後においても同様のことが続くようであれば、土砂搬入地地権者への指導等を検討する必要があると考えています。	7/20施工完了
7	あすみ野でもストックヤードを設置しているが、確認申請が必要であり、確認申請に約10万円の費用がかかる。市から助成いただき26万円のストックヤードを設置した。資源ゴミのために自治会で多くの負担をしている。	他の自治会の事例も踏まえながら、検討させていただきたい。 小岩井は既存の集積所を使用してストックヤードの代替をとっている。建築確認については検討させていただきたい。 都市計画区域内であり用途指定がある。振興局と相談しながら進めてまいりたい。	環境課 地域づくり推進課 滝沢・雫石環境組合	建築確認費用に伴う設置費用の増額につきましては把握しておりますが、建築確認が不要な箇所を設置できている自治会や該当にならない物置もあることから今後の検討課題とさせていただきます。	
8	あすみ野は20年以上経っており、グランドゴルフ場があるが、NTT柱、電力柱など多く、電柱を突き抜けて樹木が伸び、カラスの巣、ハチの巣がある。それぞれの会社で対応するものという。なぜ道路課でやらないかという予算が無いという。	道路脇に水路があり、水路脇に樹木があります。木の伐採については、計画的に進めていきたい。	道路課	街路樹の伐採、剪定は毎年度予算の範囲内で進めているところであり、今年度においても10月、11月を目途とし樹木の伐採、剪定予定です。要望箇所については樹木が40本超あり、今年度は半数の樹木を根元から伐採する予定としています。	
9	健康長寿の長野県に行かれたようですが、塩分摂取の話ですが、カリウムが不足している。塩化ナトリウムではなく、ナトリウム摂取量が長野県は多い。様々なデータを活用して取り組んでいただきたい。	—	健康づくり政策課	健康づくりに関する情報を積極的に提供していくことを検討してまいります。	
10	お山の湯は閉めているようですが、再度開所するのか。年配の方々が集えるお風呂のような考えがあるか。	観光スポットとして活用したい。お風呂については多額の改修費用が必要になる。現在、商工会青年部に活用について検討いただいている。 温泉施設としての復活ではないが、ポンプの故障の度に数千万円かかっていた。建物もあるし、環境も良いので、商工会の若手の皆さんに検討いただいている。市としては、どのようにお貸しできるなど検討を重ねている。方向性が決まったら市民の皆様へ情報提供したい。	観光物産課 財務課	財務課が事務局となり、プロジェクトチームを組成して活用方法について検討中です。 市といたしましては、費用をかけずに、また、広く施設利用の可能性について模索しており、民間活力による施設の利活用について期待しているところです。 現在、利活用に前向きな民間事業者において、自然などを活かした事業展開について検討が行われているところであり、市といたしましても連携しながら、当施設の利活用、地域の活性化に繋がるよう進めていきたいと考えています。	
11	岩手日報の記事で、コンピューター1台あたり児童何人で使用するかというデータがあったが、当市ではどういう状況で、今年度予算で機材の整備を予定しているか。	データは、盛岡市や滝沢市のように児童数が多い学校が多くなると数値が悪くなる。滝沢市では授業でパソコンを使えないという状況はない。6年に1度更新もしている。プログラミング教育に関しても盛岡管内の研修を滝沢中央小で開催予定である。教員も学ぶ機会を設けている。	教育総務課 学校教育指導課	本市の児童用パソコンの整備状況は、1台あたりの児童生徒数は、8.2人となっております。各学校の1クラスの人数分のパソコンは整備されており、パソコン教室での授業時間には1人1台を使用できる状況です。 児童用のパソコンについては、OSのサポート期限等セキュリティ面において必要に応じて更新しております。 今年度の予算では、平成26年度に購入している4校の108台について更新する予定です。 今年度、中央小学校を会場として、盛岡管内の教員を対象としたプログラミング教育の研修会を実施しました。また、県立大学と連携して、プログラミング教育の授業の研修を実施する予定です。これらの研修を通して、プログラミング教育の実施に備えております。	

12	東自治会の集会所は交流館に隣接したプレハブの一室をお借りしている。このプレハブを壊すという中で、集会所の建設について、市と自治会で情報を共有しながら進めていただきたい。	—	地域づくり推進課	元村東自治会がふるさと交流館の一部を利用する方向で、所管課である生涯学習スポーツ課と連携しながら、今後どうすべきかを引き続き協議していきたいと考えております。	
----	--	---	----------	---	--

⑤ 上の山自治会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	当自治会では、まごころ除雪隊を結成し、冬期間の圧雪による高齢者の転倒防止、家庭ゴミを減らそうとストックヤードの設置など様々先駆けて取り組んでいる。アルミ缶、新聞紙、瓶、ダンボールなどストックヤード内には非常に多く集められている。ゴミと資源を分別することで、これまでのゴミの量と現在のゴミの量との比較を市でもしてもらいたい。また、側溝の蓋交換も行うなど、自分達で出来ることをしている。市掲示板もあまりに酷く、既にリフォームしたところである。集積所にも独自の掲示板を設置した。こういった取り組みをぜひ知っていただいた上でお話いただければと思う。	素晴らしいことを実践されている。掲示板もありがとうございます。ゴミの量の比較について、担当課で出来るか出来ないか持ち帰って検討します。	環境課 地域づくり推進課	自治会で自発的にゴミ減量化・資源化に取り組んでいただき、ありがとうございます。また、掲示板の補修、活用をいただきありがとうございます。 市では、ホームページで月別のごみ排出量（家庭系ごみ及び資源ごみ）を公表しています。今後は、これまでのごみ排出量と現在のごみ排出量が比較できるようデータを蓄積するとともに、地域別等でごみ排出量を把握することができないか検討してまいります。 このほか、上の山自治会の先進的な取り組みや他自治会等の活動好事例については、周知を図る場を設けるなど、情報共有していきたいと考えております。	
2	財政について財政再建計画はいつ完了する予定か。	財政の基本、入ってくるお金と支出するお金を考え、着実に進める。これだけですと大きい事業が出来なくなる。市債も活用しなければならぬ。将来的に市民の皆さんに大きな負担にならないようにしなければならぬ。借金は悪いことばかりではない。例えば、今、物を造るとして、50年後の使うであろう人達にも負担いただくという意味では公平である。厳しい財政ではあるが縮小しているだけでは発展しない。借金を活用しながら対応する。一歩大きく踏み出したい。	財政課	全国の自治体において少子高齢化等に伴う社会保障費の増が財政を圧迫しています。市ではこれに対応するために、歳入の拡大と歳出の縮減に取り組んでいるところです。 また、現在一連の大規模建設事業の借金の返済の負担が大きくなっていますが、この返済額の推移に注意を払いつつ、新たな財源を活用した事業を展開していきたいと考えています。	
3	中心市街地について、市街化調整区域、農振地域である。水路沿いの道路を拡幅すると大型トラックが増え、大型トラックには都合が良くなる。民間活力というが、現在の通信販売社会において、ショッピングモールなど民間はこないとと思う。	中心市街地について、開発するにはプロにお任せをし、市は法的な面に対応していく。そのように中心市街地を進めていきたい。	都市政策課	中心拠点形成に関しては、住民アンケート調査の結果に基づき、中心拠点のコンセプト等を定めており、民間開発により整備していくものであります。	
4	火葬場を造るのであれば賛成である。33市町村で火葬場が無いのは滝沢市だけである。	-	環境課	現在のところ、近隣市町の火葬場で対応でき、また、近隣市町の協力も得られていることから、市営の火葬場を造る計画はございません。 近隣市町の火葬場を利用された方へは、火葬場使用料の一部を補助（火葬場使用料が3万円を超えた場合に2万円を上限として補助）しておりますので、そちらを御利用ください。	
5	右折レーンにいたら、直進の車が右折レーンに入ってきた。あとで見たら白線が薄れ消えかかっている。白線を塗って欲しい。事故が起きてからでは遅い。	現場を確認して、県道なのか市道なのか、確認をし対応させていただきます。	道路課	商工会前の道路については、外側線、中央線、導流帯、矢印の引き直しをする予定です。	
6	右折用矢印式信号の設置について。体育館で催しがあったのか直進車が多く、右折レーンにいてもなかなか進めなかった。ビッグルーフ滝沢の交差点、ニュータウン入口も同様である。	信号については、県公安委員会で設置しておりますので、県公安委員会に確認します。	防災防犯課	信号機は県公安委員会が管理しております。「信号機設置の指針」によりまずと、信号機の新規設置または改善は道路環境の変化、交通量の増加や減少により検討するとの記載があります。 現在、ビッグルーフ滝沢の交差点からニュータウン入口付近の県道は工事中でもあり、一時的に渋滞が起きやすい環境とはなっておりますが、工事完了後または今後の交通量の増加により右折レーンでの渋滞が発生するようであれば、公安委員会への要望を検討します。	

7	このパンフレットは、紛らわしいというか市長選挙時のパンフレットではないか。個人主濱了ではなく滝沢市長としての考えを聞きたいし、総合計画があるわけですから、市長の方針が具体的にわかるものとして説明いただきたい。	このパンフレットの内容は、配布資料の総合計画後期基本計画の6つの柱の中に記載されており、パンフレットの中身を組み入れております。	企画政策課	本年4月より第1次滝沢市総合計画後期基本計画がスタートし、後期基本計画の6つの部門計画に市長の方針が具体的に盛り込まれております。この度は、それらを要約した市長パンフレットを用いましたが、より理解しやすい資料を検討してまいります。	
8	総合公園のアスレチックの遊具について、壊れていて2～3年閉鎖され、子供達が遊べない状況である。滝の広場では、橋のボルトがむき出しになり、木の欄干はパイプで補修され、素足で遊ぶ子供達には危ない。このようにほったらかしになっている。財政難と言うが必要なことは早急に行うべきではないか。	遊具等ご迷惑をおかけしている。怪我等無いよう使用禁止にしている。予算を見ながら対応する。	都市政策課	滝沢総合公園のアスレチックの森の使用禁止としている遊具については、定期点検により安全を図ることが難しい結果となったことから、閉鎖せざるを得なかったものです。遊具や木橋などについては、令和年2年度から、国の交付金により、更新等を行う予定です。なお、順次更新するにあたり、ほかの遊具の再編を含めて検討してまいります。	
9	福祉バスの利用者はどのくらいか。福祉バスを廃止して、市民バスや循環バスにはいかか。高齢者が買い物や通院に使用でき、サービス向上のバスではないか。免許証返納の高齢者にもサービス提供となる。料金は70歳から100円、75歳以上はフリーバスなどである。また、上の山団地から高校生が自転車で通学している。夏であれば自転車でもどこまでも行くが、冬はバスを利用したいが北高にも市立にもバスで行けない。冬期間だけでもバスを運行するなど検討いただきたい。	市民バスという公営企業の場合、慎重に考えなければならない。かなりの自治体で赤字となっている。あるいは、各地域間の移動のバス運行、高齢者になりますとドア to ドアということで大タクシーの利用など県大とも研究しながら考えていきたい。	高齢者支援課 都市政策課	福祉バスの利用者は平成30年度実績で約4,800人です。市全体での公共交通のあり方を検討しているため、その結果をふまえて福祉バスの見直しは必要であると考えています。バスの運行は、採算性が必要でありバス会社の経営判断に委ねられます。赤字路線でも要件により、国・県・市が分担して補助している路線もあります。近年、バス会社の運転士不足も深刻となっており、新規路線の設定は難しいことが見込まれます。現在、既存路線の維持確保のため利用促進に取り組んでおります。	
10	新聞記事にもなったが民生児童委員を探しましたがいません。ギリギリ報告したが、まだ集まっていないと言われた。任期が3年であるが、自治会役員は2年であり、任期を合わせるなどできないか。推薦できる人がいなければ、自治会長がやるしかなくなる。そのような自治会が多いのではないか。市役所の方からこの人どうですかって指名いただきたい。	住民の皆様にとって民生児童委員は必要であり、地域の地元のよくわかっている皆さんの方で人選いただきご推薦をお願いしたい。現職の方々にも継続をお願いする。	地域福祉課	民生委員は厚生労働大臣より委嘱され、民生委員法第10条により、民生委員の任期は3年と定められていますので、自治会役員の任期に合わせることはできない状況です。民生委員は地域に精通した方が適任であり、自治会に推薦をお願いしておりますが、市でも現職の方々にも継続をお願いするとともに、自治会にて候補者に声をかける場合には、市からも声をかけさせていただきます。	
11	陸上競技場という名称ですが、陸上競技が出来ない状況である。小学校の市内陸上とかは県営陸上競技場で行われるようになった。国体のサッカー競技の際に芝生が立派になったが、トラックの線が無い。それなのに陸上競技場という名称である。球技場に変更してはどうか。子供達のために陸上競技場をもう少し真剣に考えていただきたい。市内の体育施設のほとんどは公認の規格をとれていないと聞いたが、野球場にしても総合公園体育館にしてもそうなのか。	当時は3種の公認をとっていたが、公認を受けるためにかかり費用がかかる。計測等条件があって年数が経つと古くなってズレが生じたり、公認取得のためには多額の費用がかかる。その後、4種、5種と落として陸上競技場として使ってきた。国体があり、サッカー競技の決勝を行うということで芝生の整備を行い、現在公認は無い状況である。フィールドについては芝生を整備したことから、サッカー競技やラグビー競技として使われている。名称の変更についても検討しなければならないと思っています。小学校の記録会について公認の関係から記録が録れないので県の陸上競技場を使用している。トラックの在り方については今後も検討させていただきます。野球場については公認等承知していない。観客席の関係等がある大きな大会等が行われなれないと思われる。球技の規格以外にも観客席や駐車場など様々な要因が考えられる。	生涯学習スポーツ課	陸上競技場としての公認取得については多額の費用を要するという財政的観点と平成28年度開催された「希望郷いわて国体」に於いて「成年女子サッカー決勝」の会場として芝生を整備したことを「国体のレガシー」として現状の位置づけ、形態となっています。施設名については今後の検討と考えます。	
12	ゴミ処理の広域化について、よく見えてこない。現状としてどうなっているのか。広域化になった場合、大災害時等においてゴミ処理が出来なくならないか。財政効率だけの観点で広域化にしているのではないか。その際、滝沢のごみちゃんセンターはどうなるのか。焼却は広域化するが灰は各自治体で処理するとか聞こえている。滝沢市としてはどうするとかビジョンをもってほしい。また、高齢化率の高い団地では、ゴミをゴミステーションまで持って行けない人が増えてくる。ぜひ行政として丁寧な説明をお願いしたい。灰は各自治体で処理か。また、土淵ではなく、県営野球場付近の焼却場を使用したらいいのではないか。	広域の会議に出席しており、話は進んでいる。今やるべきことは、場所の選定である。盛岡市がゴミの排出量が一番多いことから盛岡市のどこかに設置することで進んでおり、秋頃に決定の予定である。進め方について住民の皆様には伝わっていないということで、事あるごとに説明していきたい。焼却方式か、熔融炉方式か現在の状況として、首長会議でもどこに設置するか議論を重ねている。盛岡市長も説明に苦慮している。広域のゴミ処理について 事あるごとにお知らせしたい。最初は盛岡市の場所であった。しかし、地域の理解を得られなかった。4箇所のうちから選定している。	環境課	県央ブロックごみ・し尿処理広域化基本構想に基づき、盛岡広域8市町のごみ焼却施設を1か所に集約し、令和11年度からごみ処理の広域化に取り組んでいくこととしています。現在は、4か所のごみ焼却施設整備予定地のうち盛岡インターチェンジ付近を最も有力な候補地とし、地域の協議を優先して継続しているところです。本市としても引き続き盛岡広域8市町と連携し、ごみ処理の広域化の検討及び協議を重ねながら、ごみ処理の広域化に取り組んでまいります。	

⑥ 小岩井自治会

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	二日前の晩に火災が発生したが、その他火災と防災無線で聞こえた。建物火災、車両火災はわかるが、その他火災とはどういったものか。その他火災ではなく、野焼きとか立木とか特定した方がわかりやすいのではないか。 火災後のお知らせとして、先ほどの火災は野焼きが原因とか周知しても良いのではないか。	二日前の火災は野焼きであった。 その他火災という分類としては、建物火災でもなく、車両火災でもない場合、立木なのか野焼きが原因なのか、煙が見えているものなのか、通報内容に従って分類している。 あくまで通報内容による一報であり、火災内容が現着して特定したものではないので分類している。 メールで届くいわてモバイルメールも活用いただければと思う。	防災防犯課	(補足) 火災鎮火後の無線放送については緊急度の観点から現在行っておりません。	
2	ゴミの関係について、前の市長の際にゴミの有料化ということでアンケートをとっている。その後、市長代わってからは減量化となっている。減量化に向けての取り組み等お話しいただきたい。 ストックヤード2箇所あり、非常に効果が高い。自治会長がデータをとっている。他地域でもどんどん増えている。どのような効果があって、推進しているんだということをもっともっと広めて欲しい。上の山自治会ではこのようにしているとか、他地域ではこうしているとか。 新聞記事に、盛岡8市町のゴミ処理場が前潟周辺にできるし、そこに駅も出来ると掲載している。その後、進展があるか。小岩井としてはお店も無いため駅の新設は喜んでい	前市長の際は有料化を推進していました。厚生労働省でも有料化を推進している。ただ、有料化してゴミを有料化ではなく、減量化で十分な効果が得られると思っている。ストックヤードについて、小岩井自治会や上の山自治会は最先端をいっている。様々なところで紹介していきたい。ゴミ処理の広域化について、今は場所を決める段階であり、盛岡市がゴミの排出量が一番多いことから盛岡市内に設置することになっており候補地があるが、候補地の地域の方々が秋田市内の焼却場を視察し、これであれば大丈夫だという話も出た一方、太田地区住民は反対の声が出ている。まずは、場所の選定、次に焼却方式・溶融炉方式の選定と進んでいくものと思われる。ゴミ焼却場を迷惑施設と捉えるのであれば、引き受ける代わりに何かをという発想になり、その延長線上にあるのではないか。私としては、滝沢の溶融炉もさらに充実すれば発電やお湯という考えもできると思っている。	環境課	自治会で自発的にごみ減量化・資源化に取り組んでいただき、ありがとうございます。 市では、平成31年3月に「滝沢市ごみ減量化行動計画」を策定し、ごみ減量化・資源化に取り組んでいます。 ごみ減量化・資源化を進めていくため、生ごみ減量等によるごみの発生抑制(リデュース)のほか、再使用(リユース)、スーパーでの店頭回収・小型家電回収・集団資源回収(リサイクル)等に取り組んでいただけるよう周知活動を継続してまいります。 なお、自治会等の活動好事例については、周知を図る場を設けるなど、情報共有していきたいと考えております。 このほか、盛岡広域8市町での共同処理計画については、現段階で進展はございません。	
3	リサーチパークがあるが、当時46号線に直接向かえる道路についての考えはなかったのか。朝夕は短大付近のT字路前で渋滞が起きる。大型車の出入りが多く、道路自体広くはない。この道路の改修の考えはないか。柳沢の方では道路改修があった。砂利道を舗装にし広くとっていた。急カーブも緩いカーブになっていた。こちらの道路も拡張するなり、デコボコも酷い。改修の考えはないか。	道路計画に基づいて計画的に進めている。詳細は都市整備部長から説明をする。 当時、リサーチパークに併せて、国道46号線に直接出る道路の計画の話はありました。しかしながら、越前堰の関係で相当の橋を架ける必要性から、膨大な費用となり断念したものと伺っている。柳沢の道路については、岩手駐屯地の関係で防衛省民生安定事業により整備している。自衛隊の大型車両が通行することによって、柳沢・一本木地域はその事業を導入できる地域であります。次に、ローソン側とみどり団地から上がる所の道路改修について、舗装し直す工事について先般発注したところであり、秋頃完成する予定であります。引き続き計画的に修繕をしてまいります。駅南側の道路について道路整備計画に基づいて行うこととし、まずは駅前広場について社会資本整備総合交付金事業で整備したいと思います。また、風林橋改修に伴い道路も改修する予定です。	道路課	リサーチパークから国道46号に接続する「(仮)リサーチパーク取付道路」の整備については、滝沢市道路整備計画の中にありますが、事業化には至っておりません。後期基本計画において道路網としての検討を含め整備計画を見直して行くこととしております。 風林橋改修については、越前堰河川改修計画と整合を図り進める予定としております。	
4	陸上競技場について、陸上として使っていないのであれば、何に使っていくのか。観客席もあるし、できればサッカー場ならサッカー場、ラグビー場ならラグビー場に変更してはどうか。検討いただきたい。 市内の小学生が陸上記録会で利用できない。いつまで検討するのか。盛岡市に依存しているほかない。簡単にできることではないが予算も必要であるが、自分の住んでいる市で大会が出来る子供達に思ってもらいたい。	公式の競技が出来ない状況もある。詳細は教育次長より説明をする。 平成元年に建設された陸上競技場は、30年が過ぎ、当初は公認取得し正式記録での大会もやってきましたが、年数が経つにつれ、年間数百万の修繕等が発生し、5種までランクを落としながら5種まで下げていたが、年数による経年劣化もあり、国体サッカー時には決勝も行うということで、芝生の改修をし、現在はサッカー競技やラグビー競技での利用にて、フィールドの利用は増加しており、平成30年度は約8,000人利用であった。今後も検討していきたい。	生涯学習スポーツ課	陸上競技場としての公認取得については多額の費用を要するという財政的観点と平成28年度開催された「希望郷いわて国体」に於いて「成年女子サッカー決勝」の会場として芝生を整備したことを「国体のレガシー」として現状の位置づけ、形態となっています。施設名については今後の検討と考えますが実態に沿う施設名とする必要性はあるものと考えております。滝沢市立小学校の陸上記録会は県営運動公園陸上競技場で実施しており、理由といたしましては、トラックがタータンであること、また自動計測設備を有していることがあります。	

5	盛岡西リサーチパークについては、物流関係企業が多くなり、大型トレーラーも増加している。ローソン付近のT字路で大型トレーラー同士がすれ違えない状況もあった。道路に関しては早急に検討いただきたい。	—	企業振興課	車両の走行等に関して、事故の無いよう企業団地の協議会等にて注意喚起を行って参ります。	
6	看護短大の学生さん達が地域に入り、一緒に活動いただいていたが、看護短大が移転することが非常に残念である。経営者の方針もあるでしょうが、市でも何とか移転しないよう働きかけをなさっていたのかお聞かせいただきたい。	看護短大の学生さん達が地域に入っていただき、非常にありがたかった。医大の関係で矢巾に移転するというので、その代わりに県大の看護学部へ働きかけをし、市内の各地域に入っていただくよう声をかけていきたい。私は、研究機関・高等教育機関集積させたい。県大前にイノベーションセンター・イノベーションパークがあり、IT企業が集積しているが、買い物や飲食など憩いの場がないので課題である。46号線沿いにも様々な思いがある。分レ周辺に道の駅構想があったようであるが、なかなか人が入らない環境であると思われる。46号線沿いに何か集積できないか考えていきたい。	企業振興課 健康推進課	市内への企業立地及び集積につきましては、市の方向性や都市計画、国土利用計画、市総合計画等を踏まえ対応して参ります。 地域の皆様には、岩手看護短期大学学生実習の一環で地域に入らせて頂き、また健康管理活動にご協力頂き、ありがとうございます。市では岩手県立大学看護学部の学生実習も受け入れておりますが、現状では実習期間が限られており、これまで同様の活動は難しいと考えます。今後も学生実習のニーズを把握しながら、地域での実習について相談させて頂きますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。	
7	目指すものとはいわゆる目標であるが、市長の説明では目に見えない。具体的な数値があれば、わかりやすい。	実は、このリーフレットは私の頭の中にあるものであるが、これ自身は総合計画後期基本計画に盛り込んでいる。資料には後期基本計画の目次的なものを配布しており、この後期基本計画400ページには数値がたくさん明記され、目標値等もありますので、あとでご覧いただければと思います。	企画政策課	本年4月より第1次滝沢市総合計画後期基本計画がスタートし、後期基本計画の6つの部門計画には各指標や各目標値等を定めております。	
8	小岩井地区では、11年前から全種目に出場するようになったが、今年度綱引きが無くなるということで非常に残念がっている。最初は人集めが非常に大変だったが、小学校5年生になれば綱引きに出れる、親御さんも集まると人数が増え、新たなコミュニティの形成にもなり、夏祭りにはお父さんたちが出店するようになった。綱引きではなくて卓球でも良いのですが、もう少し子供達が参加しやすい競技が良いのではないかと。何で綱引き無いのと子供達 どうにかしてほしいと言われた。将来、子供達が思い出として楽しかったなと思えるような市民体育祭にして欲しい。参加者が減ったから市民体育祭を無くすのは簡単であるが、どうやったら参加してもらえるか、新しく参加できる働きかけをし、健康づくりを目指す滝沢市であればこそ必要ではないかと思えます。	子供達が参加しやすい競技について、今のお話を踏まえ十分検討させていただきます。チャレンジデーを5月に実施した際、当市は奄美市に負けてしまったが一週間奄美市の市旗を掲げました。年に一度のチャレンジデーを毎月やろうか、それを自治会対抗にしようか、など考えている。	生涯学習スポーツ課	市民体育祭については、すべての市民が参加しやすい形が望ましく、コミュニティの形成などご意見のとおりと考えております。大会の競技種目決定につきましては地元から推薦される「スポーツ推進リーダー」の皆様にて体育協会の助言等も頂きながら決定を頂いておりますが今回の「綱引き競技」の存続につきましては、当該の集まりの中で「参加できる自治会が半分以上」との状況下、決定したものと理解しておりますが、今後につきましては競技の復活も含めた議論等頂ければ幸いですものと考えております。	
9	健康づくりということで、健康と減塩運動、そして何より医師会との連携が重要である。今日の長野県があるのもそういった取り組みがあったからである。	医師会との連携が重要と思っている。長野県、愛知県、県内では遠野市、こういった所のデータを活用しながら、大学の先生達や関係団体の協力をいただき、進めていきたい。一人一人の市民には、野菜をとる、十分な睡眠など、誰もが実践できることを小学生に標語のようにしてもらい、市民の皆さんに周知する。いずれ医師会と十分に連携をとっていきたい。	健康づくり政策課	健康づくりへの取り組みは、継続することと、同時に自身の状況を把握することが必要となります。そのための自身で行える測定のほか、健康診断などの機会を有効に活用できる取り組みが必要と考えています。	
10	この地域の課題として平成22年に村長に要望書を提出しました。特に重点的な要望として、駅と駅前広場の整備、駅前広場は来年度にも整備になる予定で、駅舎は高齢者や障害者に優しいユニバーサルデザインをお願いしたい。(今の回答は不要とのこと。計5件。)	—	都市政策課	駅前広場整備は、平成30年度から事業着手しており、令和2年度工事完了を予定しております。また、駅舎改築については、莫大な経費を要するため、現在、市の財源の都合により事業着手の見通しがついておりません。現駅舎を残したいという地域住民の声もあり、駅舎改築の在り方について地元とともに検討して参ります。	
11	下水道工事について、役場職員のご尽力もあり、一期工事が間もなく終わる。何とか二期工事も進めていただきたい。隣の家まで入ったがといった地域の一体感のためにもお願いしたい。接続率について、それぞれの事情があると思うので三年以内は厳しいかもしれない。長い目で必ず公共下水に接続いただけたらと思う。	—	下水道課	—	

12	越前堰（仁沢瀬川）についてもこの地域のために動いていただいた。ホタルが生息する環境を維持し、工事手法を考えていただいているが、計画では年間3千万、20年以上かかると思うので、スピード感をもってお願いしたい。	—	河川課	事業採択時点での試算といたしましては、完了までにおよそ30年必要であるとしておりますが、事業の効率的促進を図り、早期完了を目指すため、工事計画の整理など行いながら、柔軟で効果的な交付金の重点配分などについて、岩手県に対し要望しているところであります。今後も継続して交付金の獲得に向けた要望活動を実施するとともに、県との連携を図りながら事業推進にあたってまいります。	・平成31年4月17日（河川事業ヒアリング） ・令和元年5月20日（盛岡広域振興局土木部との意見交換会）
13	小学校の整備、これも取り下げたわけではない。1年生入学と同時に、混雑の電車に乗る。自治会として子供は宝ですので、子供を守るということで、一か月間、スクールガードとして電車一緒に乗り学校まで一緒に歩く。地域でできることは地域で取り組む。	—	学校教育指導課	子どもたちの安全について、地域で取り組んでいただいております。	
14	団地までの取付道路、除雪が入らない。砂利道の農道である。10～20世帯が住んでいる。市道ではないが、せめて除雪だけは考えていただきたい。以上、要望書の内容として継続しているものですが今この場で回答をいただく必要はございません。	—	道路課	—	
15	下水道工事が始まる時の説明会では、五か年計画でやっていく中で滝沢ニュータウンの老朽化による更新時期により、着手すると、全体が遅れる可能性があるとのことだった。合併浄化槽方式にするか公共下水道方式にするかの住民アンケートがあったが、それをふまえたような計画になっているのか。何十年も待って、途中で整備を止めるのか、費用対効果に時間はかからないはずである。何十年待っても整備しないのであれば、諦めて合併浄化槽を入れる選択もできる。家庭の事情もあるので、検討しただけでは将来設計ができない。	公共下水道、合併浄化槽、適切に判断していきたい。その場所に適切な最も効果的な施工方法がある。そういったことを踏まえ検討が必要。下水道会計は全国的にも赤字となるケースが多い。 小岩井地区の公共下水道の工事は五年で一期の工事、二期については今年度検討している。アンケート結果について、小岩井地区は公共下水道希望39%、合併浄化槽等現状のまま14%、その他回答にならなかった方41%ということで庁内で共有したところです。回答無が半数ほどあるのでさらに意向を確認する必要がある。採算が取れないということは、下水道使用料を上げるということになると、この地区だけではなくる。	下水道課	現在、他の未整備地区も含めた費用対効果の算定について取りまとめをしており、来年1～2月頃までに地元のみなさんに公表し、今後の整備について協議をさせていただきたいと考えています。	
16	コミセンは市の建物だが、小岩井地区には公民館がある。かなり老朽化してて建て替えのため自治会で結構な額を積立している。市に予算やいつ建設できるか、場所の話は既に伝えている。いつ頃の計画にののか明確に説明して欲しい。 上記は、今この場で回答をいただく必要はございません。	—	地域づくり推進課	自治会の構想している小岩井地区コミュニティセンターと新公民館を一体で利活用する方向で考えていく必要があると思われます。 他自治会で集会所の課題をかかえているところがありますので、そちらを解決した後に対応できるよう、貴自治会と今後も情報を共有してまいります。	
17	農道は砂利道で、除雪はしなければならないと思うのですが、せめて砂利道を舗装いただければ除雪もしやすくなる。要望です。	市内には同様の箇所はいくつもあります。そこで、市道認定の要綱、道路を直すための補助金などもありますので、状況見ながらご相談いただいて、どの程度の補助ができるのか、後程自治会長を通じてでも場所を教示いただければと思います。	道路課	要望箇所を教示いただければ、現地確認をさせていただきます。	

No.	質問・意見	市回答	担当課等	担当課等の対応等	対応日時
1	この時期になると、野焼きが至るところでおきており、窓を開けていると家中煙が充満する。農家の方に聞いたところ、乾かして燃やすと煙が出る。生乾きだと白い煙で少しずつ燃える。夜つけると朝に消えているとのことであった。これが一番ダイオキシンが発生する。言っても聞いてもらえないので、刈ってる草を自分の軽トラに積んで自分の畑に山積みした。そしたら燃やさないで済む。その山積みの草はどんどん無くなり土になっていく。その土にはミミズがうじゃうじゃいて肥えた土に変わっていく。この話をしても農家の方々には聞いてくれない。煙過敏症になっている。野焼きについて、花巻や一関、秋田でも条例により厳しく規制している。滝沢に住む子供達のためにも、野焼きを禁止するため、条例を制定し、厳しく規制できないか。	野焼きについて、自分の敷地の刈った草等は燃やしてよいと認められている。ただ、ダイオキシンが出る可能性が十分にある。野焼きとダイオキシンの問題について考えていかなければならない。農家と迷惑になる方、全面禁止なのか時間的に調整するのか、協定を結ぶとか、様々な解決方法があると思う。検討させていただきたい。	環境課	野焼きは原則禁止となっておりますが、例外として農林業等のための野焼きは認められています。農林業等の野焼きについて相談が寄せられた場合は現場を確認し、風向きや時間帯等に配慮していただくようお願いしています。今後も関係課等とともに野焼きに係る近隣住民への配慮について啓発していきます。	
2	集客できる産業として、スマートインターや道の駅の活用をした方が良いのではないかと。滝沢の特産品を広げることができる場所を増やす。地元のスーパースーパー全てに馬芋ん等があるわけではない。県外へのPRの場所を検討すべきではないか。	道の駅、集客と様々なご意見を頂戴している。4号線沿いにはどういったお店があるのか、46号線沿いには流行っているお店があるなど、様々な提言もいただいているし、前向きに考えていきたい。	観光物産課	市のお酒の「鞍掛山」「馬芋ん」「ポム」につきましては、広報の7月号でもお中元用としてPRしております。市内、近郊のスーパースーパー全店とはいかなくても、大半の店では販売をいただいております。また、盛岡駅の酒屋でも販売しており、おみやげ品として好評をいただいております。県外へのPRは、首都圏の催事に出向き特産品の販売PRを実施しております。	
3	ビッグルーフ滝沢の建物そのものは高く見えるが、雫石方面から来るとただの白い建物にしか見えない。チャグチャグ馬コとか滝沢スイカとかイメージできる装飾をしてはどうか。目を引くPR・集客を行った方がいい。	ビッグルーフ滝沢をはじめ、集客・PRできる中心市街地を民間の力により作っていきたい。ビッグルーフ滝沢の白いままがいいのか、装飾を施すかなど考えていきたい。お山の湯についても、ノウハウのあるプロ・民間に任せることとし、現在滝沢市商工会青年部に様々ご検討いただいている。	地域づくり推進課	ビッグルーフ滝沢の建物の装飾のみならず、広場のライトアップなど今後検討していきたいと考えております。また、集客には建物の装飾だけでなく、コンテンツが重要であることから、魅力的な事業を誘致できるよう指定管理者と共に考えてまいります。	
4	先の話に関連して、白い異様な建物で、最新の施設だと重々わかっているが、県外やよその方に説明しづらいと思っている。	—	地域づくり推進課	施設の目的含め、情報の発信に努めていき、市民の皆さんが県外の方に誇れるような運営を心掛けてまいります。	
5	チャグチャグ馬コについて、地域をあげて清掃活動したりしているが、チャグチャグ馬コの一週間だけ、馬コの唄が流れている。あとは流しているか。	チャグチャグ馬コの一週間は馬コの唄を流している。それ以外は、いいねふるさとを流しているが、放送を流している地域や音量を調整したりしている。これは、放送がうるさいという苦情等があるためである。熊が出た場合は、例えば防災無線で音楽を流すなどイメージ等わかりやすい放送にしたい。 昼の放送の件、毎日いいねふるさとが流れている。これは市の愛称唄である。様々な場面で唄われている。現在、小学生の音楽会の全体合唱でも歌われている。五年位前からはじめ、まだ小学校で唄った子が成人していない。何年か後には成人式でも唄えるようにしたい。	観光物産課	チャグチャグ馬コ行進事の時期に、地元自治会の協力をいただき周辺を清掃いただいております。感謝しております。チャグチャグ馬コの唄につきましては、初夏の風物詩である行進事時期に合わせて流させていただきます。	
6	体育施設について、もう少し充実させて欲しい。観覧席が多く、大きい施設が必要である。よそから呼んで良い試合をしたり、見たりできない。南中は体操で有名、南中新体操は剣道部の部室を借りている。練習場所も無い。そういった盛り上がりも必要ではないか。ビッグルーフ滝沢は狭い部屋ばかりである。子供達が良い試合を見る機会とか大事ではないか。	最近の滝沢市の児童生徒は非常に頑張っている。県、国の大会等で頑張っている。南中の新体操も30連覇するなどした。練習場所の確保については検討する必要がある。ビッグルーフ滝沢、歌舞伎を見れるなど有効な使い方が必要である。体育施設等の施設面については計画的に進める必要がある。市総合計画後期基本計画、その他40以上の個別計画の中で計画的に進める必要がある。	生涯学習スポーツ課 地域づくり推進課	現在、滝沢南中新体操部の練習場所は、勤労者体育センターを確保しております。 ビッグルーフ滝沢の大ホールでは、これまでもダンス、一輪車、体操などの練習会場として貸し出しておりますが、そのような多目的な利用が可能であることを広めたいと思います。また、スポーツのパブリックビューイング等については、大型スクリーンを使用して、約460名の観戦が可能です。	



7	最近、教育委員会の動きが聞こえなくなった。いじめもどうなっているのか。学校から子供が外に出て先生が探しに出て授業にならないと聞く。学校は大変です。子供達は変わってきている。相談室はあるけれど、地元の人が地元の人になかなか相談できない状況がある。周りに助けてもらいながら育てていかなければならないと思っています。こういったことが教育委員会から流れてこない。	子供達のことを伝わってこないということですが、学校の方で運営協議会を設置し、地域の方々にも子供達の様子を伝えることにしている。子供達が授業を抜け出してというのは最近聞いたことが無い。昔のヤンチャな時代のことではないのですね。発達障害のお子さんということであれば把握しています。教育の中では、友達との関係がうまくいかなかったり心の問題等のことです。頻繁ではないが、そのようなケースもあり、学校としても様々対応している。今年の入学者説明会で、どこの学校でも発達障害の説明会を開き、そういった内容についても説明している。保護者の皆さんが真剣に聞いている。県内では初めてではありますが、みんなで周りで支えながら学校で地域で関わりを持つ必要がある。これからも続けてまいりたい。	学校教育指導課	平成30年3月に「滝沢市いじめ防止等対策リーフレット」を市内全戸に配布しているほか、広報たきざわにおいて毎月、各学校の様子や学校教育関連の記事を掲載しております。また、教育振興協議会において、学校と地域が連携する機会を設け、学校の状況を情報提供するとともに、教育活動への理解を頂いております。	
8	道路に関して、一本柳の五差路、危険箇所として提出しているが、右折信号を設置いただきたい。登校時はスクールガード3人で対応しているが、最近二件くらい接触事故が起きている。いつ大きな事故が起きるかわからない。最近特に信号無視が多い。赤に入ってから進む車が非常に多い。赤にならないと曲がれないからそのようになる。違反ではなく犯罪者にもなり得る。それぞれが気を付ける必要がある。	右折信号については、内部で検討し県公安委員会に話をしたい。交通モラルについて、一人一人の問題であり対応する必要がある。	防災防犯課	県道側は道路に右折レーンが設置されておりますが、市道側は道路に右折レーンの設置がないため、信号機の設置基準上、新規設置は不可能な状態です。県道側に設置されている信号機への右折矢印信号の新規設置について、交通量の増加や事故の発生状況等から、今後要望を検討します。	
9	長野県の視察の中で、具体的に健康づくりに対して今後何から行っていかお願いします。単純に、減塩、つま先をあげておろす、かかとをあげておろすなど何セットかやるとか、街に歩いて行って美味しいものを食べるとか、目的をもって自分で歩くなど行動することが大切である。	長年の積み重ねが重要であり、塩分控えるとか、野菜を摂取するとか、運動するとか、小さい当たり前のことの積み重ねが大切で、それをどうやって市民の皆様へ励行いただくか、伝えるにあたり、保健師、医師会を通じて、簡単なことの積み重ねについて、大学の意見も聞きながら、一つでも二つでも前進できるように市民の皆様へ理解され、実行され、標語みたいなもので周知する。一番は減塩運動を進めたい。	健康づくり政策課	健康づくりの要素としては運動・栄養・休養の三点が示されており、この3点から広がる様々な取り組みが考えられるところですが、すべての方は、それぞれに必要な取り組みがあると思われることから、健康づくりの基礎となる情報を提供しながら、併せて取り組みの提案を行っていくことを検討してまいります。	
10	周辺の世帯がここ最近2件空き家になった。周辺に11世帯あるが9世帯になった。市街化調整区域であるから子供達が帰ってこないとか、市街化調整区域であることの制約等あるのか。	5年に一度、制度の見直しや線引きが行われるが、盛岡広域都市計画は盛岡市、滝沢市、矢巾町で計画され人口の貼付等エリアの見直し等があり、市街化調整区域は新たに建物を建てる場合は建てれないといった制度ではある。市街化調整区域ゆえに買い手がつかないとかあるのか。経過年数など様々要件があつての売買等となるので個別に相談いただきたい。	【一個別案件】 【既に回答済】	-	